

○「普賢寺地区連絡会の規約を検討」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第9回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年年6月4日午後6時～7時
- 場 所: 普賢寺公民館
- 出席者: 委員3人、京田辺市:伊藤主査、山城北
普及センター:寺岸副主査、成栗技師、農
業会議:多田課長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 普賢寺地区連絡会の規約案の目的及び事業について見直しを行い、具体的内容を盛り込んだ。
- 目的では、担い手の確保、地区固有の資源の活用、優良農地の維持、連携による地域づくりを内容とした。
- 事業では、人材の育成、地区固有資源の保存と継承、耕作放棄地の解消・防止、農作業の受委託、鳥獣被害の軽減、他地域・他業種間との連携、課題解決に向けた地区内連携などを推進することとした。
- 6月13日に地区連絡会議を開催し、18日の設立総会に向け最終確認を行う。

4 活動結果

- | | |
|-----------|------|
| ○ 情報・意見交換 | 1 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 支援 |